

## 山梨県森林環境税に関するアンケート調査結果

<回答者：県政モニター、企業、市町村、森林組合等>

- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「N」と表示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。

### 【県政モニター】

(問) あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

■ . 男性 ■ . 女性

N=308

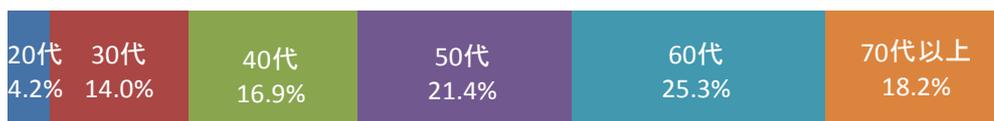


### 【県政モニター】

(問) あなたの年齢はおいくつですか。あてはまる番号を選択してください。

■ . 20～29歳 ■ . 30～39歳 ■ . 40～49歳  
 ■ . 50～59歳 ■ . 60～69歳 ■ . 70歳以上

N=308



### 【県政モニター】

(問) あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

N=308



### 【企業】

(問) 県内事業所の主な所在地はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

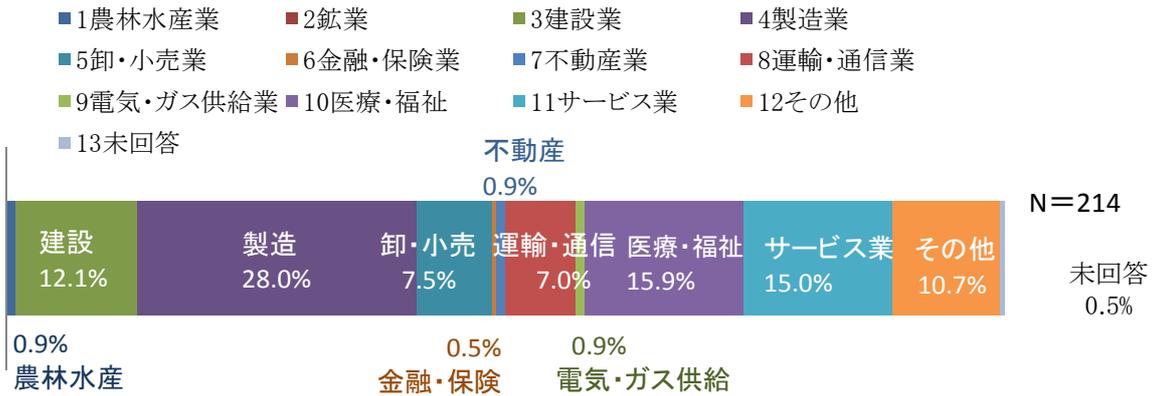
N=214



- <<中北地域>> 1. 甲府市 2. 南アルプス市 3. 甲斐市 4. 中央市  
5. 昭和町 6. 韮崎市 7. 北杜市
- <<峡東地域>> 8. 山梨市 9. 笛吹市 10. 甲州市
- <<峡南地域>> 11. 市川三郷町 12. 早川町 13. 身延町 14. 南部町  
15. 富士川町
- <<富士・東部地域>> 16. 都留市 17. 大月市 18. 上野原市 19. 道志村  
20. 小菅村 21. 丹波山村  
22. 富士吉田市 23. 西桂町 24. 忍野村 25. 山中湖村  
26. 鳴沢村 27. 富士河口湖町

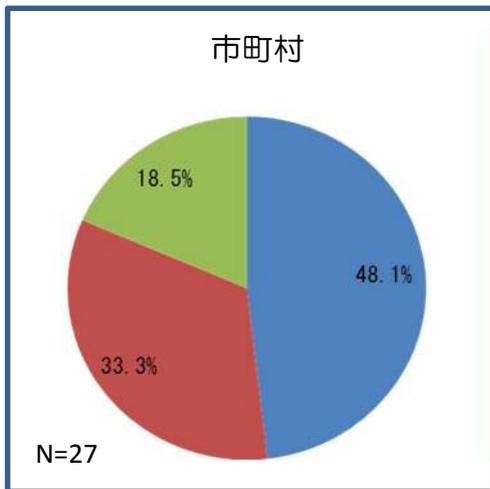
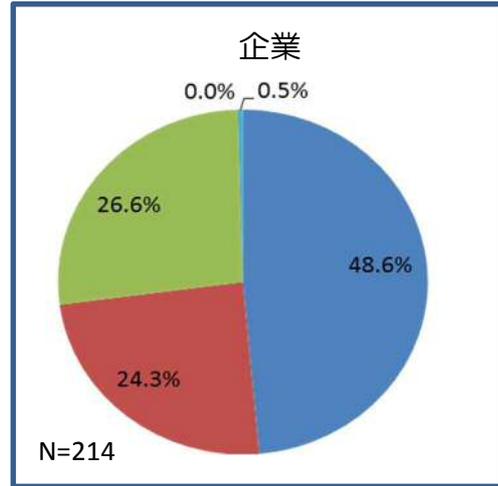
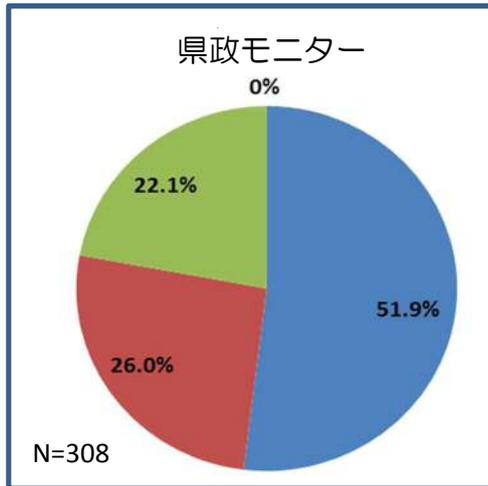
【企業】

(問) 貴社の業種をお伺いします。あてはまる番号を選択してください。



(問4) 森林は豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因と二酸化炭素を吸収するなど様々な役割を果たしていることをご存じでしたか。

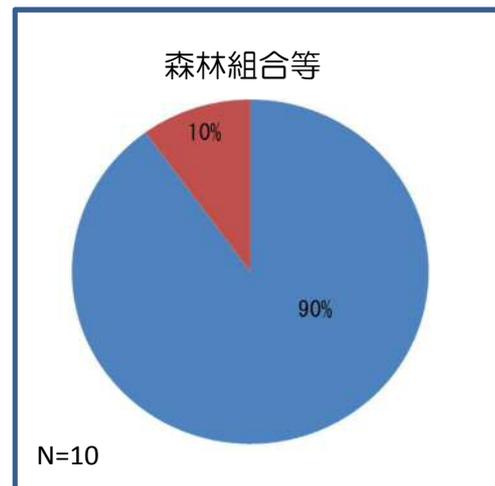
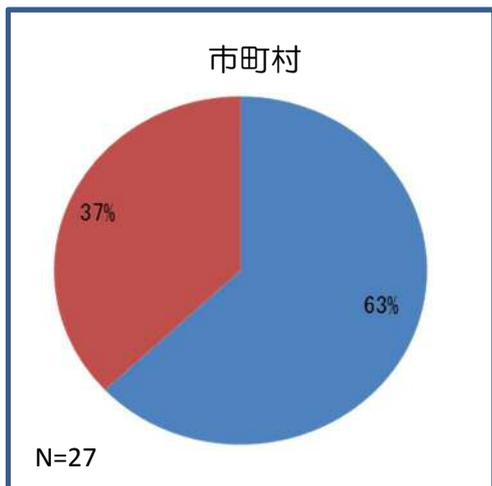
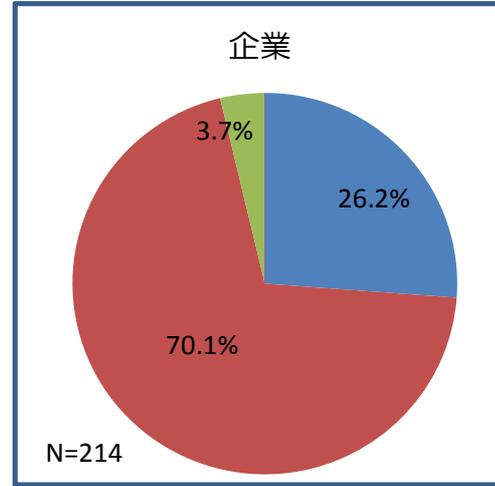
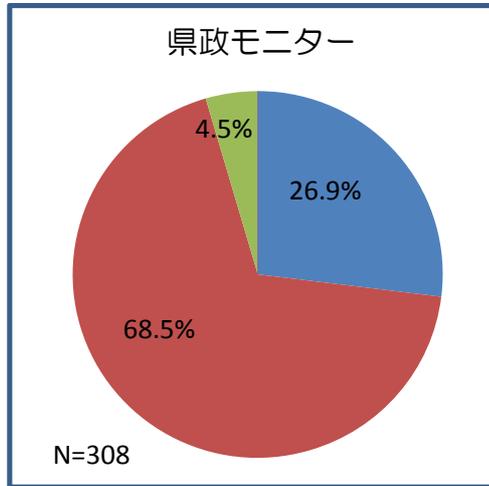
- . 森林が果たす役割の内容をかなり知っていた
- . 森林が果たす役割の内容を一部でも知っていた
- . 森林が様々な役割を果たしていることは知っていた
- . 森林の果たす役割を全く知らなかった
- . 未回答



「かなり知っていた」「一部でも知っていた」を合わせ、アンケートへ回答された全ての人が森林が様々な役割を果たすことを知っていたと回答しています。

(問5) 山梨県は県土面積の約8割が森林であることをご存知でしたか。

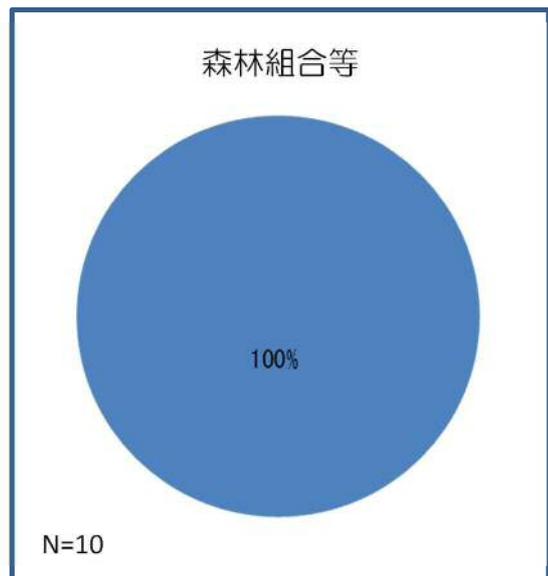
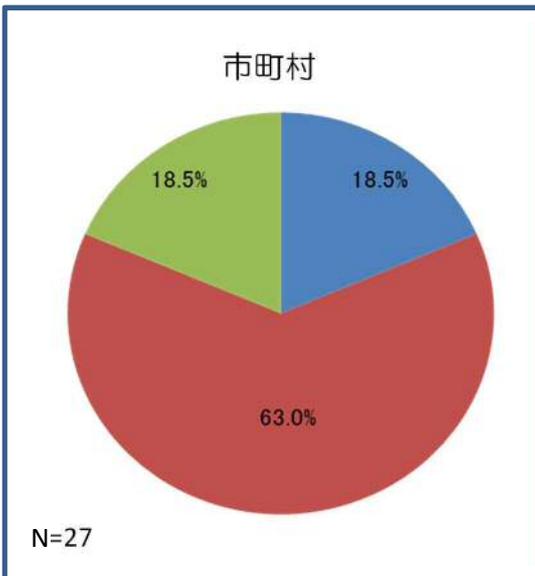
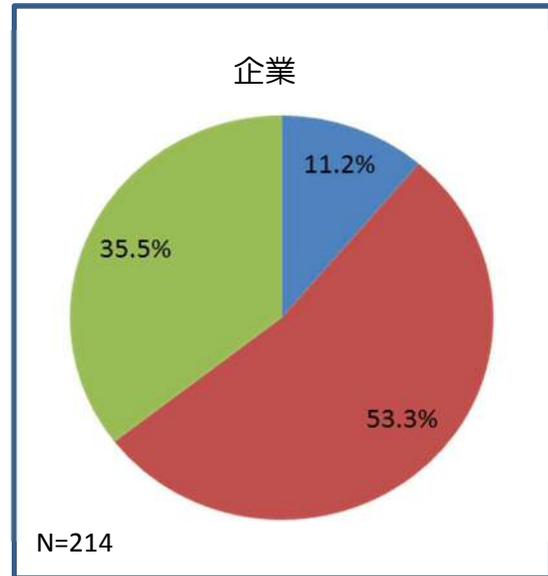
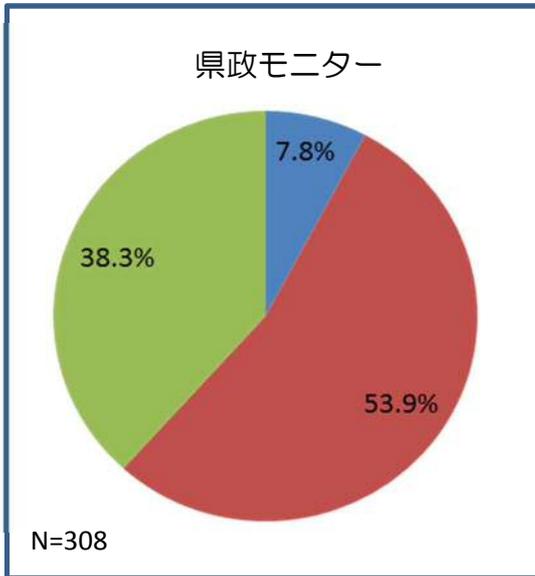
- . 約8割であることを知っていた
- . 森林の占める割合が非常に高いことは知っていた
- . 全く知らなかった



「約8割であることを知っていた」を含め、9割を超える人が本県が森林の占める割合が高いことを知っていたと回答しています。

(問6) 県有林が占める割合が全国一であることをご存知でしたか。

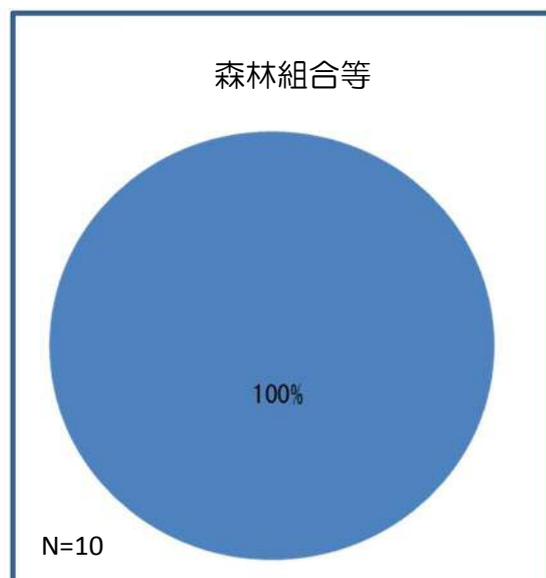
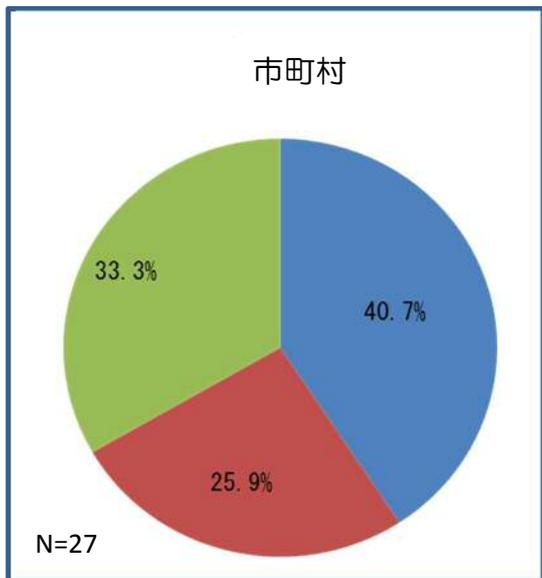
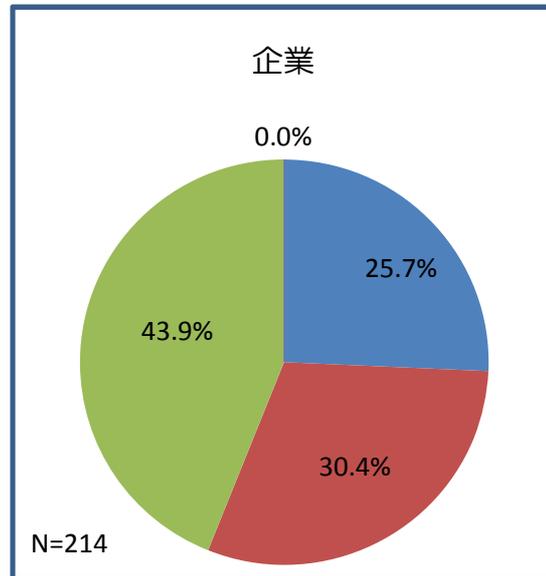
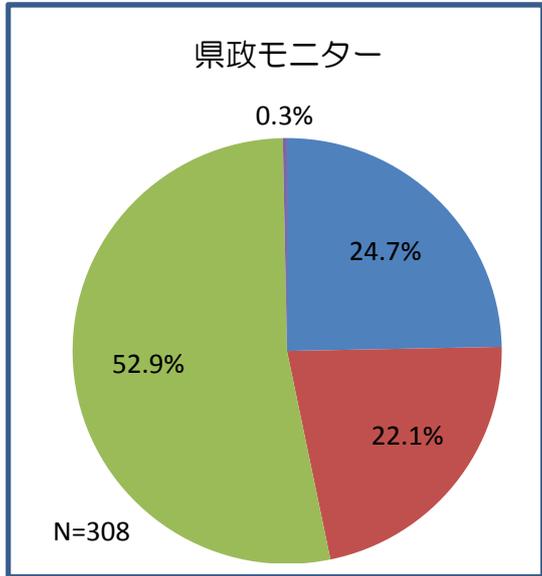
- . 全国一であることを知っていた
- . 県有林の占める割合が高いことは知っていた
- . 全く知らなかった



県政モニター、企業とも「全国一であることを知っていた」を含め、6割を超える人が本県の森林について県有林が占める割合が高いことを知っていたと回答しています。一方、「全く知らなかった」との回答も3割を超えてありました。

(問7) 神奈川県の水道水源である桂川流域において、山梨県が行う森林整備費用の一部を神奈川県が負担していることをご存知でしたか。

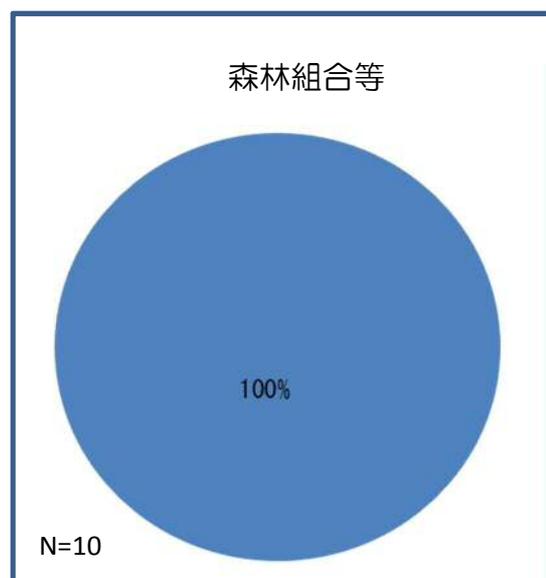
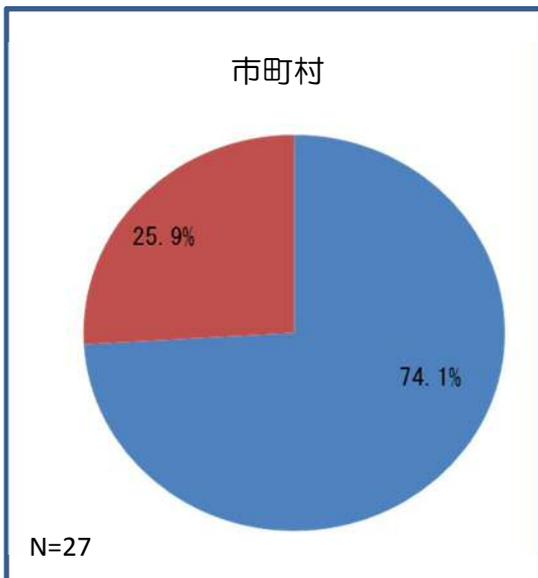
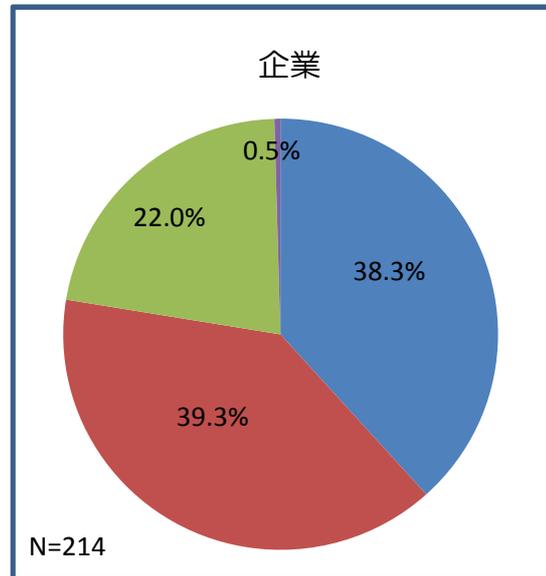
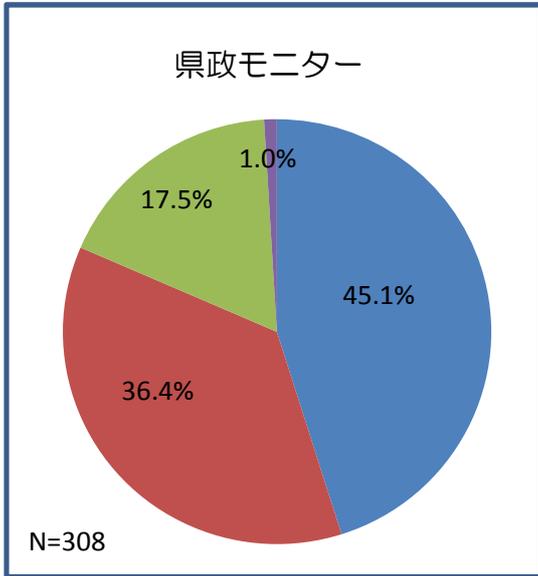
- . 知っていた
- . 聞いたことはある
- . 全く知らなかった
- . 未回答



県政モニター、企業とも「知っていた」「聞いたことはある」を合わせた回答が約半数、「全く知らなかった」との回答が約半数ありました。市町村では「全く知らなかった」との回答が約3割ありました。

(問8) 現在、山梨県の民有林の多くが荒廃し、森林の多面的な機能等に支障が生じていることをご存知でしたか

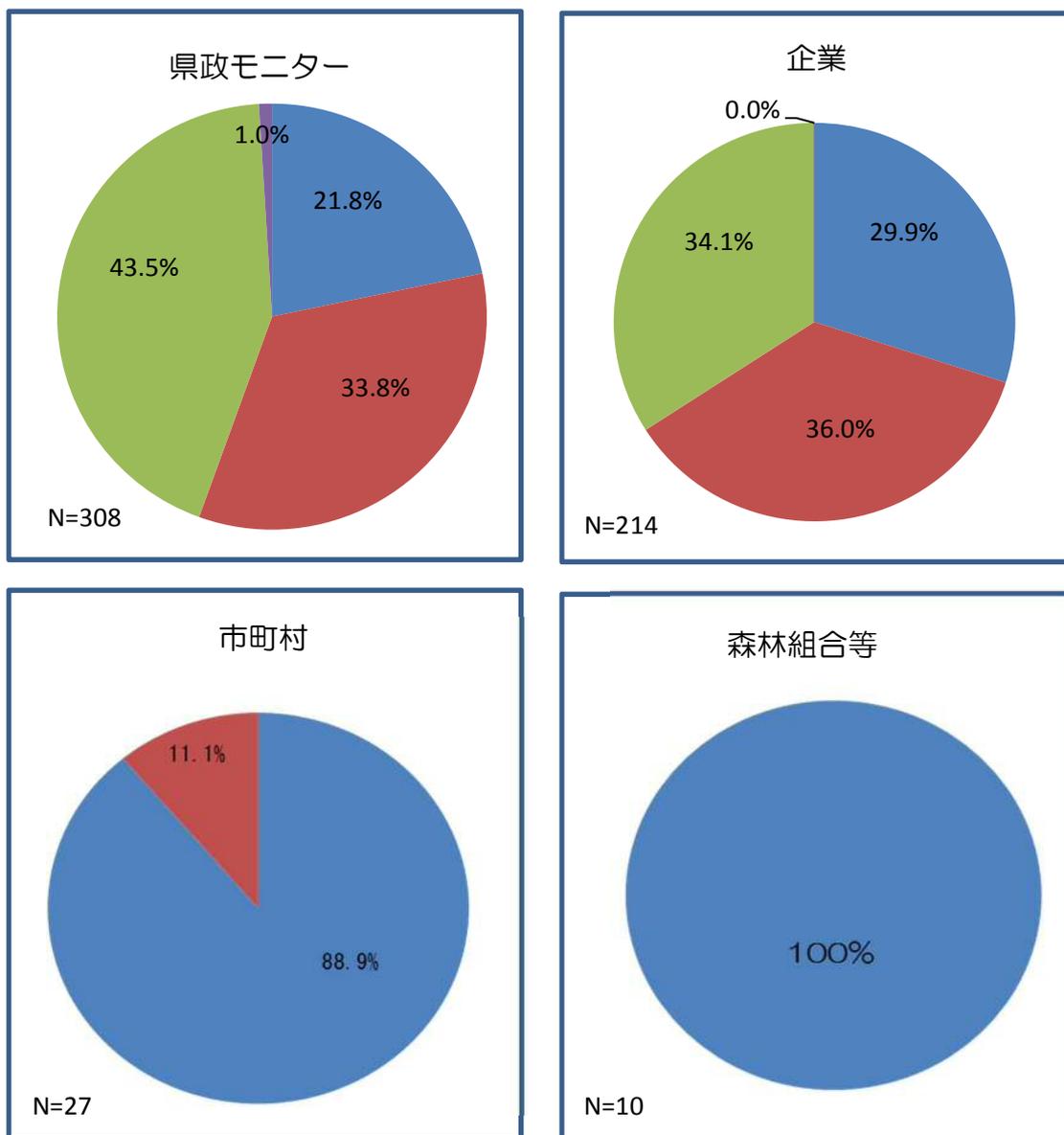
- . 知っていた
- . 聞いたことはある
- . 全く知らなかった
- . 未回答



県政モニター、企業とも「知っていた」、「聞いたことはある」を合わせた回答が、約8割ありました。一方、「全く知らなかった」との回答が約2割ありました。

(問9) 山梨県では、荒廃した森林を再生することなどを目的に、平成24年度から森林環境税を導入した事業を進めています。このような取り組みをご存知でしたか。

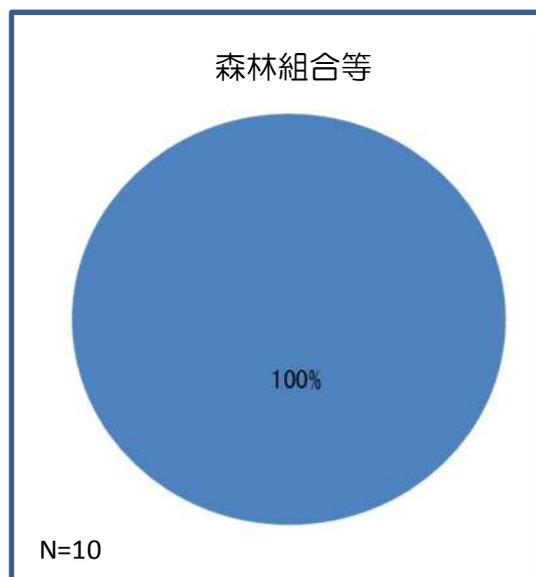
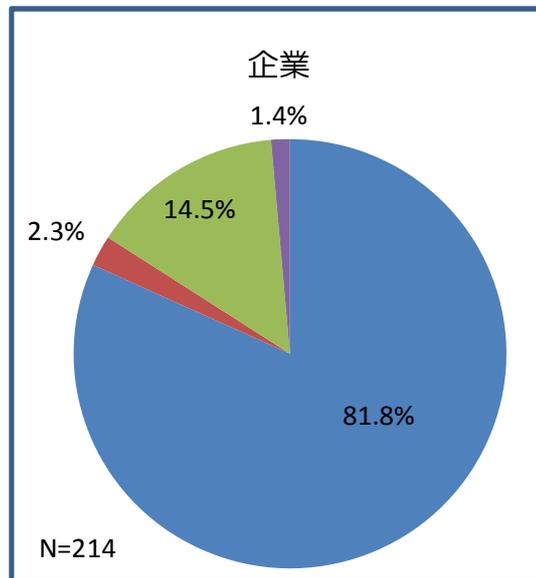
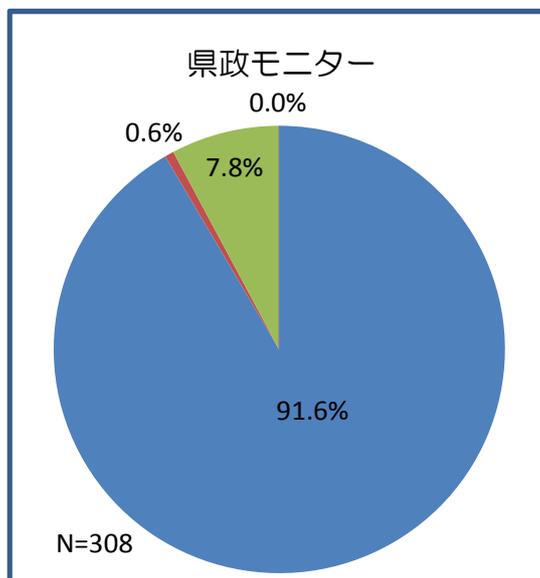
- . 知っていた
- . 聞いたことはある
- . 全く知らなかった
- . 未回答



県政モニターと企業とも「知っていた」「聞いたことはある」を合わせた回答が、半数以上ありました。一方、「全く知らなかった」との回答が、約3割から約4割ありました。

(問10) 山梨県には、荒廃した人工林や生い茂った竹林等がまだ多いなど課題があります。これらの課題に対して行う森林環境税による森林整備などの取り組みをどのように思われまか。

- . 必要である
- . 必要でない
- . わからない
- . 未回答

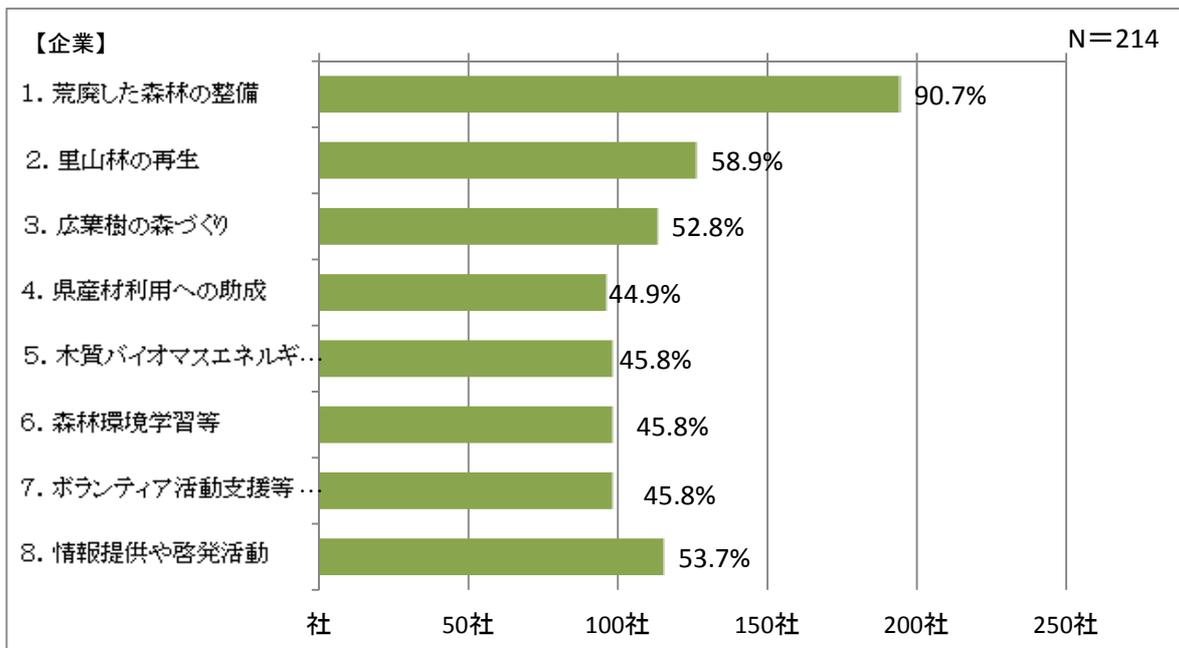
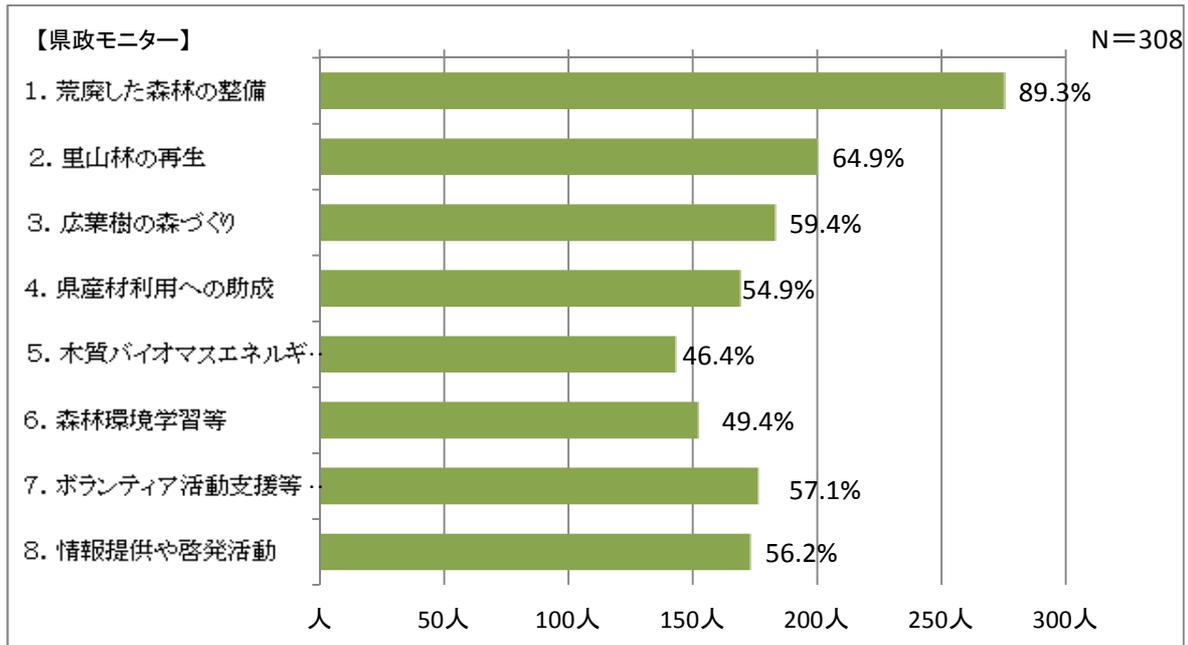


「必要である」が県政モニターでは9割、企業では8割ありました。「わからない」との回答が約1割あり、「必要でない」との回答が、県政モニターで0.6%、企業で2.3%ありました。

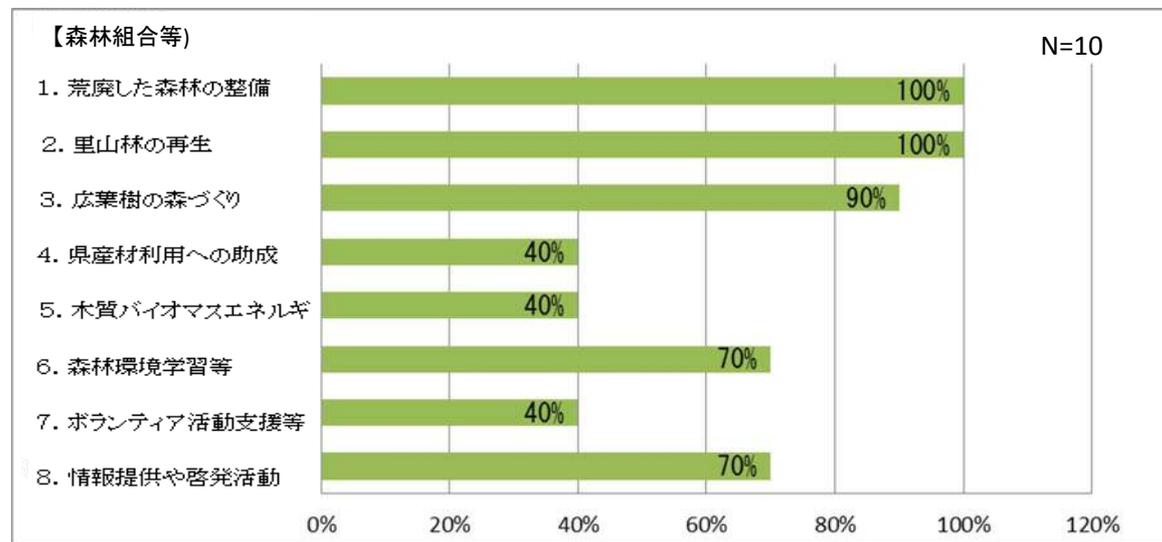
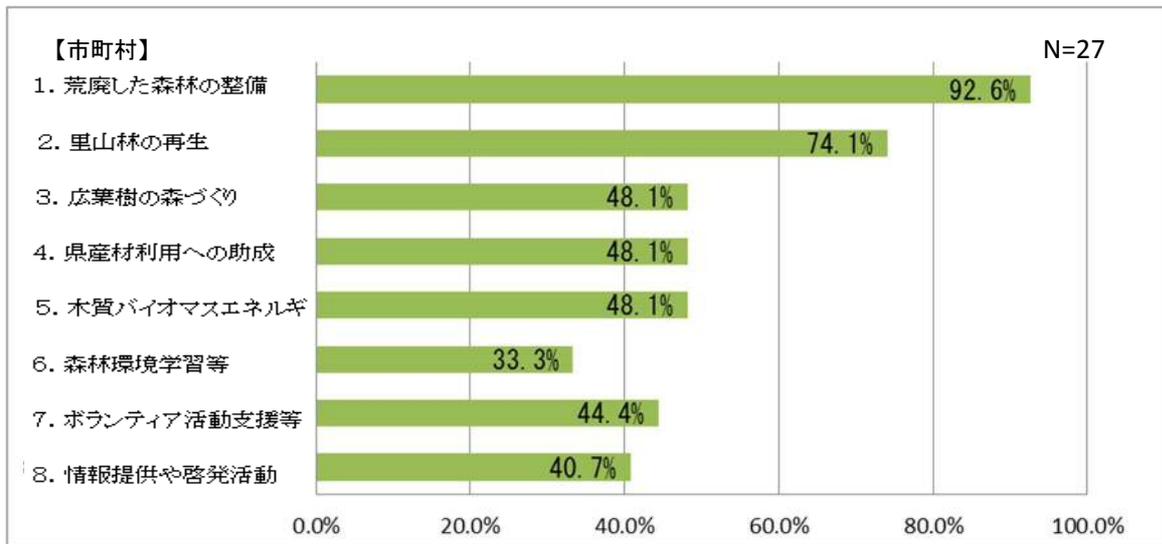
(問 1 1) 現在森林環境税を活用して取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合、引き続き実施すべきと思われる取り組みはどれですか。

(番号をいくつでも選択)

1. 荒廃した森林の整備
2. 里山林の再生
3. 広葉樹苗の植栽など広葉樹の森づくり
4. 県産材利用への助成（学校への机・椅子導入補助）
5. 木質バイオマスエネルギーの利用促進に向けた普及啓発
6. 森林や環境についての学習や自然と親しむことができる機会の拡大
7. 森林保全や環境問題に取り組むボランティア・民間団体などの活動支援
8. 森林環境税への理解を深めるため、森林の大切さや環境問題などに関する情報提供や啓発活動の充実



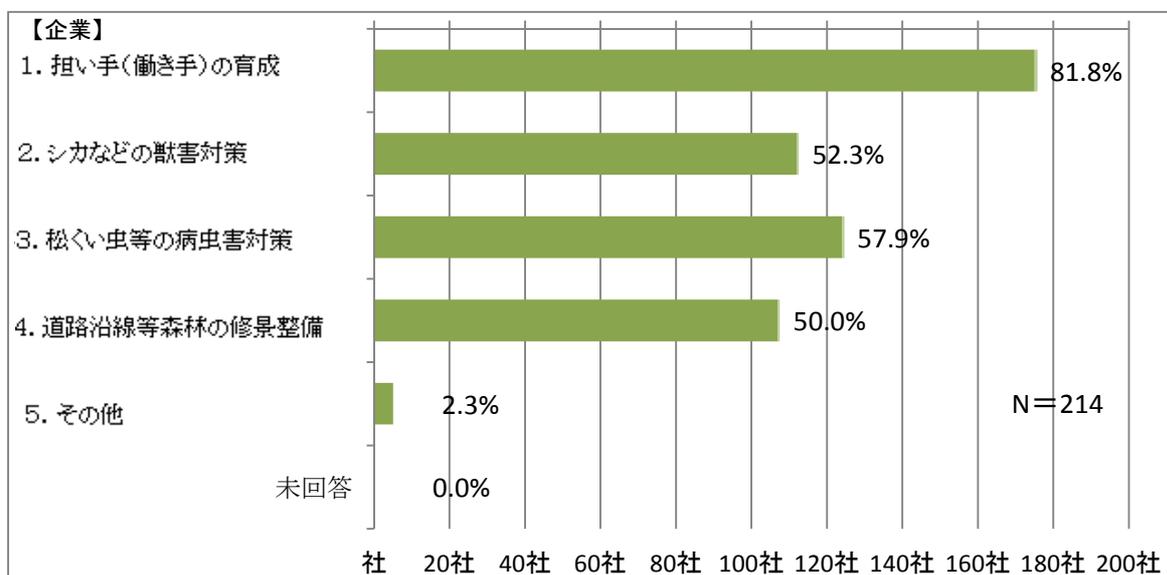
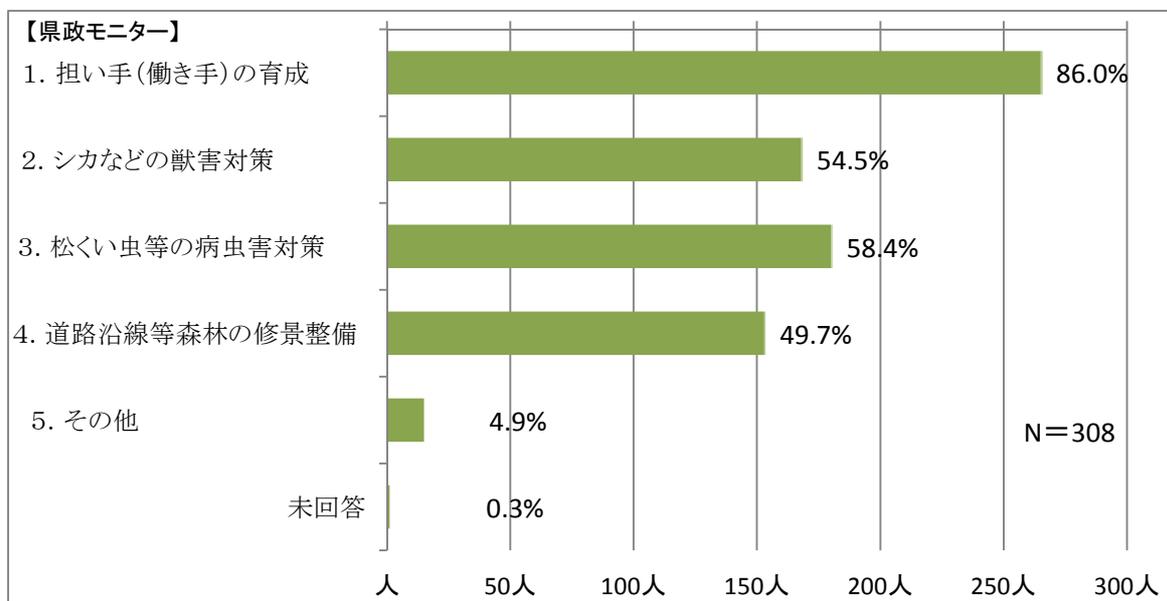
(問 1 1 続き)



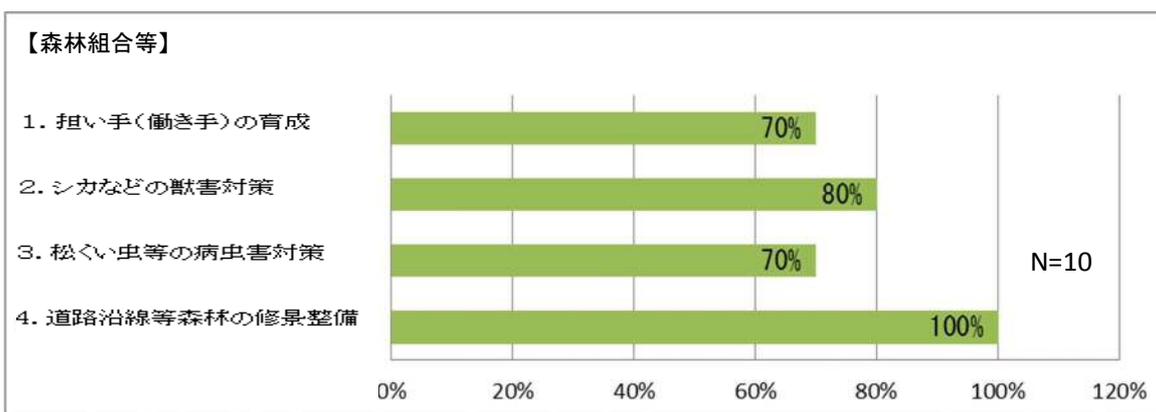
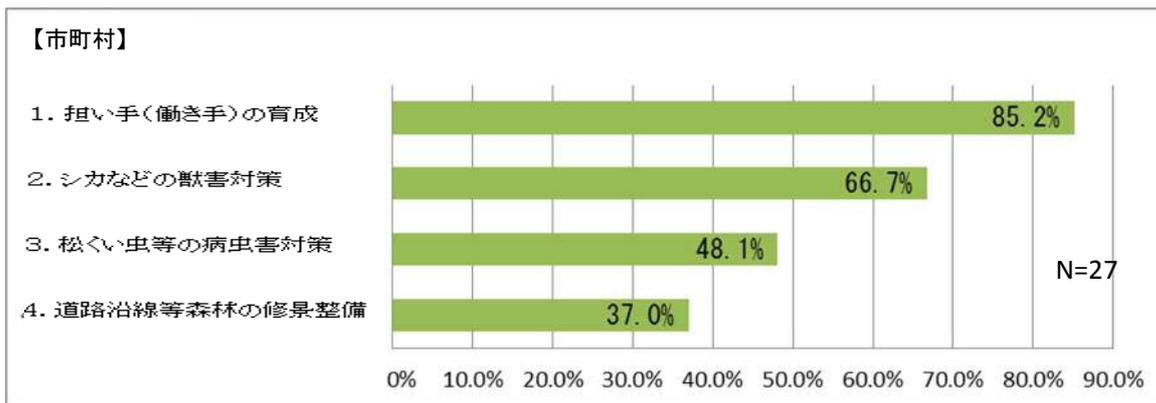
「荒廃した森林の整備」が約9割と最も多く、「里山林の再生」が続きます。

(問12) 制度を継続した場合に、問11に掲げる現在の取り組み以外に取り組んだ方が  
良いと思われる事業はありますか。(番号をいくつでも選択)

1. 森林を整備する担い手(働き手)の育成
2. シカやツキノワグマなどの獣害対策
3. 松くい虫等の病虫害対策
4. 集落周辺や道路沿線等の森林の修景整備
5. その他 ( )



(問 1 2 続き)



「森林を整備する担い手(働き手)の育成」が森林組合で7割、その他の回答者では8割を超え最も多くありました。その他の例示項目も概ね5割程度となっています。

#### その他意見

(県政モニター)

- ・ペレットストーブへの助成 ・指導者育成 ・若年層への啓蒙・啓発活動
- ・県民への広報 ・川の上に出ている森林整備 ・登山道等の整備
- ・林道、作業道への補助 ・森林整備強化(水源確保) ・不法投棄対策
- ・狩猟登録と駆除事業 ・太陽光発電用パネル設置の規制 ・森林産業の安定化策(企業)
- ・育林への補助 ・災害対策用の林道整備 ・大規模ソーラーパネル対策
- ・野生生物保護に向けた森林整備

(市町村担当者)

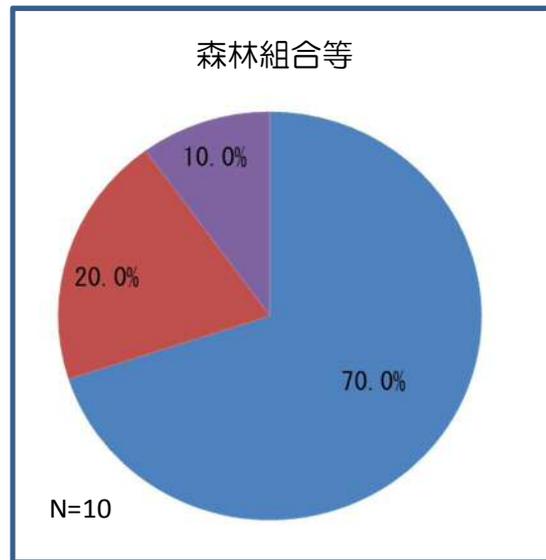
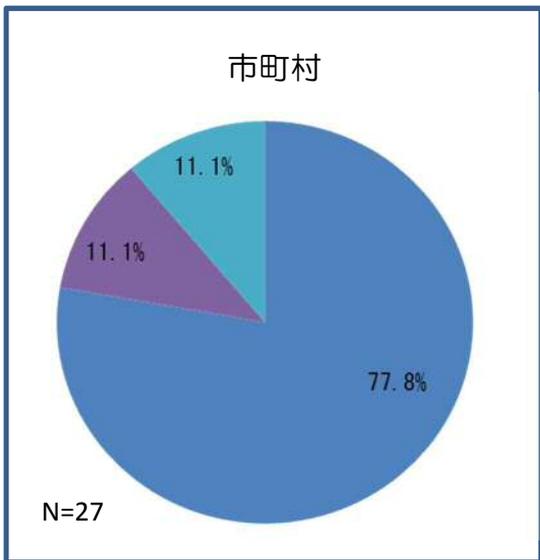
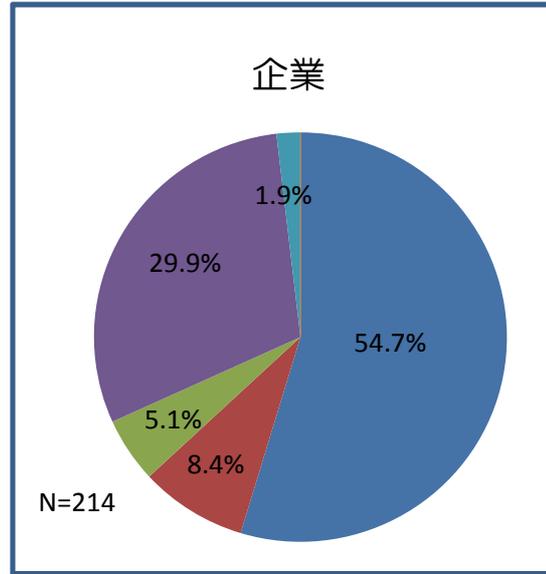
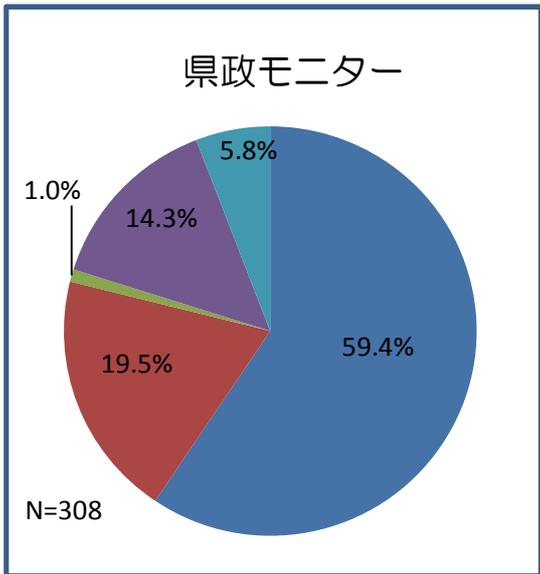
- ・里山林における所有者把握及び境界調査
- ・自然災害が発生する危険性がある個所の予防工事
- ・造林補助金で対応が難しい奥山の切り捨て間伐

(森林組合等)

- ・林道の新設・整備
- ・植樹用貸地及び市町村有林整備

(問13) 森林環境税は、個人年額500円を負担していただいています。(モニター)  
 森林環境税は、企業一社当たり法人の県民税均等割額の5%相当額(資本金等  
 に応じて1千円~4万円)を負担していただいています。(企業)  
 今後も継続する場合、どの程度の負担が適当と思われますか。

- 現行(500円(モニター))(5%(企業))を維持すべき
- 金額を引き上げるべき(年額 円(モニター))(年額均等割額の%(企業))
- 金額を引き下げるべき(年額 円(モニター))(年額均等割額の%(企業))
- わからない
- その他( )



すべての回答者について「現行を維持」が最も多い回答でした。  
 県政モニターでは「現行を維持」が約6割、「金額を引き上げる(19.5%)」「わからない(14.3%)」「その他(5.8%)」「引き下げる(1.0%)」と続きます。  
 企業では「現行を維持」が約5割、「わからない(29.9%)」「金額を引き上げる(8.4%)」「引き下げる(5.1%)」「その他(1.9%)」と続きます。  
 市町村では「現行を維持」約8割のほか、「わからない」と「その他」がそれぞれ11.1%でした。  
 森林組合等では「現行を維持」7割、「金額を引き上げる」2割、「わからない」1割でした。

(問13 続き)

金額を引き上げる（回答者：県政モニター60人、企業18社、森林組合等2）とした回答

(意見) 個人・年額	県政 モニター	(意見) 企業・均等割額	企業	森林組合 等
	19.5%		8.4%	20%
個人年額600円	1人	均等割額の6%	1社	
個人年額700円	2人	均等割額の7%	2社	
個人年額800円	5人	均等割額の8%	3社	
個人年額900円	人	均等割額の9%	社	
個人年額1000円	41人	均等割額の10%	11社	1
個人年額1000円超	6人	均等割額の10%超	社	
未回答	5人	未回答	1社	1
計	60人	計	18社	2

金額を引き下げる（回答者：県政モニター3人、企業11社）とした回答

(意見) 個人・年額	県政 モニター	(意見) 企業・均等割額	企業
	1.0%		5.1%
個人年額400円	人	均等割額の4%	1社
個人年額300円	2人	均等割額の3%	7社
個人年額200円	1人	均等割額の2%	社
個人年額100円	人	均等割額の1%	1社
未回答	人	未回答	2社
計	3人	計	11社

その他意見

(県政モニター)

- ・金額を引き上げるか下げるかではなく有効に活用されているかどうか問題
- ・税の活用内容による
- ・500円負担で充分なのか足りないかわからないので回答できない
- ・成果を示した上で随時検討
- ・引上げた分で県産材を使用した物品を作る ・県産材利用の製品拡大(家具等)
- ・根拠はないが上げて良いと思う ・必要な限りアップしてもいいと思う
- ・年額500円負担していることを知らなかった
- ・今まで実施してきた内容を精査、検証され、それに基づき検討すべき

(企業)

- ・仕方なく、という思いで現状維持 ・5~10%が良い
- ・企業経営の悪化で厳しい
- ・どの企業も業績悪化のため、森林環境税は現状維持
- ・有意義に使えるなら引き上げて構わない
- ・予算の使途の詳細が不明

(市町村)

- ・現在の税収入に対し、年間の執行状況を比較し検討すべき。但し、消費税の上昇などを考えると500円以上の個人負担は望ましいとは思えない。
- ・現状のままなら減額するべきだと感じるが、変化があるならば現状維持でよいと感じる。
- ・現状を維持することを基本的な方針としつつ、現状維持が良いのか、それとも引き上げるべきなのかは、今後の事業展開により納税者の理解を求めていくことが肝要だと思う。

(問14) 最後に、森林環境税を活用した取り組みについて、  
何かご意見、ご提案がございましたら、ご自由に記入ください。

(主なご意見)

- ・多くの県民に理解と協力を頂くなかで、PRなどの普及啓発を図ることが重要である。
- ・森林環境税を自分が納めていることすら知らなかったが、森林整備のために住民が負担するのは良いことだと思う。森林の整備の必要性などもっとPRすれば関心を持つ人も増えるのではないかな。
- ・地球温暖化防止や災害防止など、私たちの暮らしの中で、森林は大切なものなので協力していきたい。
- ・県土面積の約8割が森林であり、それなりの手入れをしないといざという時役目を果たさない。
- ・長い取り組みとなる課題であり、森林整備は大事なこと。継続してほしい。
- ・森林環境税制度を知らない人が多いと思う。森林環境税がどのように活用され、どのような効果等が出ているのかなど、県民に対してもっと情報提供が必要。
- ・子供達が自然を学びながら、植林などを通して自然とふれあえる機会があると良い。
- ・森林整備のための若い働き手を育成することが重要だ。
- ・獣害対策が必要。
- ・県産材の活用や普及啓発に力を入れて欲しい。

# 山梨県森林環境税に関するアンケート調査（平成28年1月）

別紙回答票に選択した番号を記入してください。

## 県政モニター

問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はおいくつですか。あてはまる番号を選択してください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

問3 あなたのお住まいの市町村はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

峡中地域	1. 甲府市 2. 南アルプス市 3. 甲斐市 4. 中央市 5. 昭和町
峡北地域	6. 韮崎市 7. 北杜市
峡東地域	8. 山梨市 9. 笛吹市 10. 甲州市
峡南地域	11. 市川三郷町 12. 早川町 13. 身延町 14. 南部町 15. 富士川町
東部地域	16. 都留市 17. 大月市 18. 上野原市 19. 道志村 20. 小菅村 21. 丹波山村
富士五湖地域	22. 富士吉田市 23. 西桂町 24. 忍野村 25. 山中湖村 26. 鳴沢村 27. 富士河口湖町

## 企 業

## 森林組合等

問1 貴社の業種をお伺いします。あてはまる番号を選択してください。

1. 農林水産業 2. 鉱業 3. 建設業 4. 製造業 5. 卸・小売業  
6. 金融・保険業 7. 不動産業 8. 運輸・通信業 9. 電気・ガス供給業 10. 医療・福祉  
11. サービス業 12. その他（ ）

問2 県内事業所の主な所在地はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

峡中地域	1. 甲府市 2. 南アルプス市 3. 甲斐市 4. 中央市 5. 昭和町
峡北地域	6. 韮崎市 7. 北杜市
峡東地域	8. 山梨市 9. 笛吹市 10. 甲州市
峡南地域	11. 市川三郷町 12. 早川町 13. 身延町 14. 南部町 15. 富士川町
東部地域	16. 都留市 17. 大月市 18. 上野原市 19. 道志村 20. 小菅村 21. 丹波山村
富士五湖地域	22. 富士吉田市 23. 西桂町 24. 忍野村 25. 山中湖村 26. 鳴沢村 27. 富士河口湖町

# 山梨県森林環境税に関するアンケート調査（平成28年1月）

別紙回答票に選択した番号を記入してください。

## 市町村

貴市町村の森林・林業を所管する部署にお伺いします。

問1 市町村名はどちらですか。あてはまる番号を選択してください。

峡中地域	1. 甲府市	2. 南アルプス市	3. 甲斐市	4. 中央市	5. 昭和町
峡北地域	6. 韮崎市	7. 北杜市			
峡東地域	8. 山梨市	9. 笛吹市	10. 甲州市		
峡南地域	11. 市川三郷町	12. 早川町	13. 身延町	14. 南部町	15. 富士川町
東部地域	16. 都留市	17. 大月市	18. 上野原市	19. 道志村	20. 小菅村
	21. 丹波山村				
富士五湖地域	22. 富士吉田市	23. 西桂町	24. 忍野村	25. 山中湖村	26. 鳴沢村
	27. 富士河口湖町				

問2 部署名・ご記入された方の職氏名を別紙回答票に記載してください。

1. 所属名 ( )
2. 記入者職氏名 ( )

## 山梨県森林環境税に関するアンケート調査（平成28年1月）

別紙回答票に選択した番号を記入してください。

### 以下共通

問4 森林は豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するなど様々な役割を果たしていることをご存知でしたか。

1. 森林が果たす役割の内容をかなり知っていた
2. 森林が果たす役割の内容を一部でも知っていた
3. 森林が様々な役割を果たしていることは知っていた
4. 森林の果たす役割を全く知らなかった

＜森林が果たす役割（多面的機能）＞

- 木材の生産や、きのこ・山菜などの林産物を生産する働き
- 豊かな水をたくわえ、供給する働き
- 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化を防止する働き
- 空気をきれいにする働きや騒音をやわらげる働き
- 貴重な野生動植物の生息の場を提供する働き
- 自然に親しみ、癒（いや）しや安らぎなど、リフレッシュや行楽の場としての働き
- 自然の大切さを学ぶ環境教育の場を提供する働き
- 美しい自然景観を形成する働き 等

問5 山梨県は県土面積の約8割が森林であることをご存知でしたか。

1. 約8割であることを知っていた
2. 森林の占める割合が非常に高いことは知っていた
3. 全く知らなかった

山梨県総面積446,537ha 森林面積347,313ha(森林率78%):全国第5位

問6 明治末期の大水害により、山梨県に御料地が御下賜されました。このことにより、森林面積のうち約半分（46%）を恩賜県有財産（県有林）として、県が管理・整備を行っています。

県有林が占める割合が全国一であることをご存知でしたか。

1. 全国一であることを知っていた
2. 県有林の占める割合が高いことは知っていた
3. 全く知らなかった

## 山梨県森林環境税に関するアンケート調査（平成28年1月）

別紙回答票に選択した番号を記入してください。

県有林面積158,000ha 森林面積に占める県有林の割合46%：全国第1位

<参考>

山梨県内の森林を、東京都水道局、横浜市水道局が水道水源として次のとおり所有し、管理・整備を行っています。

- ・東京都水道水源林：多摩川上流域である甲州市・小菅村・丹波山村の総面積の約33%
- ・横浜市水源涵(かん)養林：道志川流域である道志村の総面積の約37%

**問7 神奈川県の水道水源である桂川流域において、山梨県が行う森林整備費用の一部を神奈川県が負担していることをご存知でしたか。**

1. 知っていた
2. 聞いたことはある
3. 全く知らなかった

**問8 木材価格の低迷や山村地域の過疎化、高齢化が進行したことにより、現在、山梨県の民有林の多くが手入れができず荒廃し、森林の持つ多面的な機能が発揮されにくくなっていることや、生い茂った竹林等によって生活面での支障が生じていることをご存知でしたか**

1. 知っていた
2. 聞いたことはある
3. 全く知らなかった

**問9 山梨県では、荒廃した森林を再生することなどを目的に、平成24年度から森林環境税を導入した事業を進めています。このような取り組みをご存知でしたか。（別添資料に本県の取り組みを掲載しています。）**

1. 知っていた
2. 聞いたことはある
3. 全く知らなかった

**問10 山梨県には、荒廃した人工林や生い茂った竹林等がまだ多いなど課題があります。これらの課題に対して行う森林環境税による森林整備などの取り組みをどのように思われますか。**

1. 必要である
2. 必要でない
3. わからない

## 山梨県森林環境税に関するアンケート調査（平成28年1月）

別紙回答票に選択した番号を記入してください。

問11 現在森林環境税を活用して取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合、引き続き実施すべきと思われる取り組みはどれですか。（番号をいくつでも選択）

1. 荒廃した森林の整備
2. 里山林の再生
3. 広葉樹苗の植栽など広葉樹の森づくり
4. 県産材利用への助成（学校への机・椅子導入補助）
5. 木質バイオマスエネルギーの利用促進に向けた普及啓発
6. 森林や環境についての学習や自然と親しむことができる機会の拡大
7. 森林保全や環境問題に取り組むボランティア・民間団体などの活動支援
8. 森林の大切さや環境問題などに関する情報提供や啓発活動の充実

問12 制度を継続した場合に、問11に掲げる現在の取り組み以外に取り組んだ方が良いと思われる事業はありますか。（番号をいくつでも選択）

1. 森林を整備する担い手（働き手）の育成
2. シカやツキノワグマなどの獣害対策
3. 松くい虫等の病虫害対策
4. 集落周辺や道路沿線等の森林の修景整備
5. その他（ ）

問13 森林環境税は、個人から1人当たり年額500円を負担していただいています（県政モニター調査）。企業一社当たり法人の県民税均等割り額の5%相当額（資本金等に応じて1千円～4万円）を負担していただいています（企業調査、森林組合等調査）。今後も継続する場合、あなたはどの程度の負担が適当と思われますか。

1. 現行（500円）を維持すべき
2. 金額を引き上げるべき（年額\_\_\_\_\_円）
3. 金額を引き下げるべき（年額\_\_\_\_\_円）
4. わからない
5. その他（ ）

問14 最後に、森林環境税を活用した取り組みについて、何かご意見、ご提案がございましたら、別紙回答票にご自由に記入ください

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。